

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・どのお子様にも不自由にならないよう十分なスペースを確保しています
	②	職員の配置数は適切であるか	○			・必要配置数以上のスタッフを配置しています
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・車いすの移動も歩行にも支障がでないようバリアフリーになっています
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・アンケートを活用して情報を収集し、サービスの改善に努めています
	⑥	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・法人のホームページにて掲載しています
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			
	適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		
⑩		子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		
⑪		活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
⑫		活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
⑬		平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		
⑭		子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
⑮		支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
⑯		支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
⑰		日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			

関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○				
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	○				
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○				
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				・看護師による対応ができる時のみ受け入れています。基本的には医療的ケアは行っていません。	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・相談支援員を通して情報共有を行っています。また、保育所で児童について会議に参加しています。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等サービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			・法人内の事業所を利用する場合には、移行前のスタッフとの顔合わせを頻回に行い、利用開始後も様子伺いをしています。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○			
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			・法人内の託児所の児童との交流を行っています。	
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○		
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○		
	保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
		㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
		㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・保護者会を希望する方がない為、保護者同士が関わる場としては、今のところは法人行事のみとなっています。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・火災の想定場所や状況を変更しながら定期的に避難訓練を実施しています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・感染症の状況により参加できないこともあるが、オンラインや施設内外にて対応しています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・アレルギー対応食を適切に提供しています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			

保護者向け放課後等デイサービス評価表

(配布21件 回答16件)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16			
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	15	1		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	15	1		・行くことがない為、わからない
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	15	1		
	⑤	活動プログラム <sup>ii</sup> が固定化しないよう工夫されているか	14	2		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	7	1	・知る機会がない為、わからない
保護者への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	1		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていますか	15	1		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	4		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	12		
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	3		・苦情があったことがない為、わからない
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	1		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	4	1	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	15	1		
非常時等 の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	11	5		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	5		・情報が無い為、わからない
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	15	1		・気分によっては楽しみにしている ・利用日は玄関に行き笑顔で待っている
	⑱	事業所の支援に満足しているか	16			・安心して利用できている ・寄り添う支援や学習に満足している

事業所名	放課後等デイサービス芽愛			
法人（事業所）理念	法人理念：家族と共に、障害のある人たちが、その人らしい人生の実現のために努めます。障害のある人自身が、地域住民として、社会の一員として地域と共に生きていける「地域づくり、社会づくり」に努めます。「目配り、気配り、心配り」の精神を持ち、常に利用者の目標に立った、質の高い支援に努めます。			
支援方針	基本的な生活支援、基本的動作の取得及び自立と、社会参加の促進、生活の質の向上を目的に支援を行います。 笑顔を引き出す支援、集団でのお友達との関わり支援、入浴支援等様々な支援を提供しています。			
営業時間	8時	30分から	17時	30分まで 送迎実施の有無 あり (福祉車両有り)
支 援 内 容				
健康・生活	食事、排泄、着脱、身だしなみや整え方などの支援を繰り返して行うことで、身辺自立を促します。 定期的な心身の把握を行います。（毎回の体温測定、顔色、状態の把握）入浴支援にて清潔保持、リラクゼーションの時間の提供をします。			
運動・感覚	ストレッチ、ラジオ体操、軽い運動など各種活動の中で体を動かす、身体の発達を促します。 視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有感覚、前庭覚などの感覚活動を意識した運動を行います。			
認知・行動	ホワイトボードにて文字を使い、天気、気温、日付の把握と確認による感覚、数の認知形成を行います。 プリント学習の中で、数、形、長さ、大きさ、時間などの概念を学びます。			
言語 コミュニケーション	他者とコミュニケーションをとる上で必要なやり取り（基本的な挨拶、お礼、謝罪）を反復練習で行い習得を目指します。 言葉の発達支援、コミュニケーションスキルの習得や発達を促します。			
人間関係 社会性	グループ活動や集団活動を通してルールや順番を待つなどの、他者と一緒に生活していく為に必要なスキルを身につける機会を作ります。 友達との関わり方に関して、支援者が助言や必要時には仲介に入り肯定的な関わり方が増えるように支援します。 朝の会の司会や献立の発表の役割を通して人前で発表する力を養う。地域イベントや外出を通して、公共の場での過ごし方を学びます。			
家族支援	多世代等にて家族の意向、本人の家族、学校の状況などを聞き取り支援を行います。日頃の様子を連絡帳やラインにてやり取りを行いながら、必要時には個別で相談に応じています。		移行支援	
地域支援・地域連携	担当者会議に参加し、他事業所との情報共有を行い連携を図ります。 地域イベントに参加し交流をしています。		職員の質の向上	
主な行事等	防災訓練（火災を想定した訓練、非常食体験） 季節に合わせた行事（お花見、クリスマス会、節分）			

進級時、卒業後は保護者や関係機関への情報提供を行っています。

毎月の支援会議にて利用者別の関わり方や支援方法の共有をしています。  
外部研修に参加を行います。